

# ガス受託製造約款

平成 29 年 4 月 12 日 実施

日本海エル・エヌ・ジー株式会社  
東北電力株式会社  
石油資源開発株式会社

平成 29 年 4 月 1 日 届出

## I. 基本的事項

### 1. 目的

本ガス受託製造約款（以下「本約款」といいます。）は、ガス事業法第 89 条第 1 項に基づき、日本海エル・エヌ・ジー株式会社（以下「当社」といいます。）が設備を所有し、当社、東北電力株式会社、石油資源開発株式会社（以下「当社等」といいます。）が維持、運用する日本海エル・エヌ・ジー新潟基地（以下「当基地」といいます。）について、利用を希望する方が当社等に対して基地利用を申し込む際に、予め承諾いただく基本的事項および協議を行う上で必要となる一般的かつ原則的な事項を定めたものです。

基地利用にあたり基地利用希望者は当社等と協議の上、詳細な利用条件等を定めた「基地利用契約」を締結していただきます。

なお、本約款の対象設備に関する事項として以下について予めご承知おき下さい。

- ①気化設備は、ガスの払出圧力別に低圧用、中圧用および高圧用がある。このうち低圧用と中圧用は、東北電力株式会社の東新潟火力発電所向け専用となっており、本約款の対象となる気化設備は、高圧用のみとなる。
- ②熱量調整および付臭に係る設備は所有していない。

### 2. ガス受託製造約款の変更

- (1) 当社等は、ガス事業法の規定に基づき、経済産業大臣に届け出て、この約款を変更することがあります。この場合、基地利用条件は、変更後のガス受託製造約款によります。
- (2) 当社等は、この約款を変更した場合、当社等ホームページにおいて、この約款の変更内容と、効力発生時期を周知いたします。

### 3. 用語の定義

本約款において使用する用語の意味は、次のとおりとします。

- ①「基地利用」とは、当基地の受入設備に基地利用希望者が調達した LNG を受入れ、貯蔵、気化し、当基地の払出地点でガスの払出しを行うことをいう。
- ②「基地利用希望者」とは、本約款に従って当社等に基地利用検討の申込みをする方、当社等との間で基地利用契約の申込みをする方、または基地利用契約を締結する方をいう。
- ③「受入」とは、LNG を、基地利用希望者と当社等の間の合意に基づき、当社が当基地の棧橋において LNG 船より LNG の荷降しを行い、LNG タンクへ移送することをいう。
- ④「貯蔵」とは、LNG を、基地利用希望者と当社等の間の合意に基づき、当社が当基地の LNG タンク内において既存利用者および基地利用希望者の LNG を混合して留め置

くことをいう。

- ⑤「払出」とは、LNG タンク内の LNG を、基地利用希望者と当社等の間の合意に基づき、当社が気化し、当基地の払出地点でガスを払出すことをいう。
- ⑥「受入地点」とは、LNG 船より LNG の荷降しを行う地点をいう。
- ⑦「払出地点」とは、LNG を当社がガスに気化した後に、当基地より払出し、基地利用希望者にガスを引渡す地点をいう。
- ⑧「年度」とは、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの期間をいう。
- ⑨「基本契約」とは、当社等と基地利用希望者との間の基地利用に関する基本的事項を定める契約をいう。
- ⑩「年次契約」とは、基本契約に基づいて当社等と基地利用希望者との間の基地利用上の細目的事項を定める年度毎の契約をいう。
- ⑪「基地利用契約」とは、本約款および基本契約、年次契約を合わせた総称をいう。
- ⑫「年間受払計画」とは、基地利用の実施にあたり、年度を単位として当社等と合意していただく、1 回あたり受入量、受入毎の LNG 性状等、および日別の払出ガス量の計画をいい、別途合意に基づきこれを修正したものを「修正計画」という。
- ⑬「入港前ミーティング」とは、気象予報機関による気象解析を参考に入港の可否と荷役の安全性等を検討する会議をいう。
- ⑭「荷役前会議」とは、LNG 船の着棧後に、荷役スケジュールおよび安全の確認、当基地と LNG 船の設備等の状態の確認等を行う会議をいう。
- ⑮「消費税等相当額」とは、消費税法の規定により課される消費税および地方税法の規定により課される地方消費税に相当する金額をいう。

#### 4. 引受前提条件

基地利用希望者の基地利用にあたっては、基地利用希望者が以下の基本事項に承諾いただくことを前提とします。

- ①基地利用は、定期整備・修繕工事等を考慮した基地の設備能力から、当社等が事業を行う上で必要とする能力（リスク対応等に要する能力を含む）を差し引いた余力の範囲内であること。
- ②当社等と誠実に配船協議を行った上で、年間受払計画（および修正計画）に合意すること。入船日は当社等と誠実に協議することとし、当社等の求めに応じて入船日の変更について誠実に協議すること。
- ③年間受払計画（または修正計画）に基づき、基地利用希望者が、所定の量および性状の LNG を安定的に調達・配船し、かつ所定の量および性状のガスを安定的に引き取ること。

- ④基地利用希望者が使用する LNG 船について、当基地の設備に適合し、LNG 船の離着岸および荷役が安全かつ円滑に行われること。
- ⑤基地利用希望者が調達する LNG の性状（熱量、密度、組成、成分比率等）等が、当基地が受入れている LNG の性状等と適合性を有すること（別に公表する「液化ガス貯蔵設備の容量等」に記載するプラント設計上受入可能と見込まれる LNG の品質を含む）。
- ⑥当基地からのガスの払出しは、当基地に導管を接続している事業者と別途託送契約を締結すること。  
なお、基地利用希望者自らまたは他の者が当基地まで導管を敷設し、当基地設備と直接接続する場合は、別途協議を行う。
- ⑦LNG の受入・貯蔵・気化およびガスの払出等に関する業務、保安・防災管理等に関する業務等、当基地の運営に必要な業務は、当社等、または当社等の委託先、または基地利用希望者が当社等の管理下にて実施できること。
- ⑧保安上または当社等の事業の遂行に必要な場合は、基地利用の制限を含め、基地利用希望者が当社等の協力要請に迅速かつ確実に対応できること。
- ⑨基地利用にあたり、当社等以外の関係者との調整（LNG 船の入出港に必要な手続、官庁申請等の一切の手配等）が必要な場合は、当社等の意見を踏まえ、当社等または基地利用希望者が当該関係者と調整を行い、承諾等を得ることができると。
- ⑩その他、当社等およびその関係会社の事業遂行上必要な条件を満たすこと。

## 5. 情報公開

- (1) 当基地に受入可能な大よその船型、基地の貯蔵能力および気化能力の目安（イメージ）、配船計画の大よその策定スケジュールについては別に公表する「液化ガス貯蔵設備の容量等」のとおりです。
- (2) この他に必要な詳細な情報については、6 に定める基地利用検討の申込みを受けた後、守秘義務契約を締結した場合に提供します。

## II. 契約の申込み

### 6. 基地利用検討の申込み

- (1) 基地利用希望者は、本約款の内容を承諾いただくとともに当社等と事前協議をしていただいた上、原則として、希望する基地利用開始月の属する年度の前年度の8月末までに、

当社等に対して、以下の項目を明らかにして書面により基地利用検討の申込みをしていただきます。

①基地利用希望者に関する情報（法人名、代表者名、本社所在地、担当者連絡先等）

②基地利用開始・終了時期

③使用する LNG 船の仕様・主要項目

（船名・タンク形式・荷役設備・係留設備等、船陸整合確認に必要な情報）

④LNG の性状（産地、熱量、密度、組成、成分比率、不純物含有率等）

⑤希望する年間受払計画

（1回あたり受入量、受入毎の LNG 性状等、日別払出計画）

⑥希望する最大 LNG 貯蔵量および最大気化・払出量（月別・日別・1時間別）

⑦その他、当社等が基地利用検討を行う上で必要とする事項

（2） 基地利用希望者は、当社等に対して、基地利用検討に要した費用をお支払いいただくもの  
とします。

## 7. 基地利用検討結果の通知

（1） 当社等は、基地利用検討の申込みの受付日から3ヶ月以内に、基地利用申込み諾否の  
検討結果について、基地利用希望者に通知します。ただし、6（1）①～⑦の項目が揃  
わない場合には条件付きの承諾となる場合があります。

（2） 当社等は、基地利用希望者の基地利用申込みを承諾する場合は、基地利用料の概算金  
額も合わせて通知します。基地利用申込みをお断りさせていただく場合は、その理由も  
合わせて通知します。

（3） 検討内容により、やむを得ず上記に定める期間を超えて検討が必要な場合は、当社等  
は基地利用希望者に対して予想される追加期間およびその理由を通知します。

## 8. 基地利用申込み承諾後の協議項目

（1） 当社等は、基地利用申込みを承諾した場合、本約款条件に基づきつつ、以下項目につ  
いて基地利用希望者と協議を行います。

①契約期間に関する事項

②受入・貯蔵・気化・払出等に関する詳細事項

③LNG、ガスの計量に関する事項

④基地利用料、補償料に関する事項

⑤設備工事費の負担に関する事項（当基地に発生する設備の新設・変更等）

⑥危険負担に関する事項

- ⑦基地利用の制限、中止に関する事項
- ⑧損害の賠償に関する事項
- ⑨保安に関する事項
- ⑩契約の期間満了、更新、変更および解除に関する事項
- ⑪債権等の譲渡に関する事項
- ⑫その他、基地利用契約に規定すべき事項

(2) 当社等は、必要に応じて以下項目について基地利用希望者と協議を行います。

- ①LNG 在庫の貸借・売買に関する事項
  - ・料金および手数料については別途協議を行います。

## 9. 基地利用契約の締結

8 基地利用申込み承諾後の協議項目に合意した場合、基地利用希望者と当社等は基地利用契約を締結します。

## 10. 契約期間

希望する基地利用が長期間に亘る場合、当社等は、基地利用期間の見直しを求めることや、基地利用契約に合意できないことがあります。

## Ⅲ. 計量および利用料等

### 11. LNG、ガスの計量

- (1) 受入量、払出量ならびに受入 LNG の密度および熱量等の計量の詳細については、当基地における計量実態を踏まえて決定します。
- (2) LNG 受入量の単位は、メトリック・トン (MT) とし、第三者公認検定機関が発行する検査証明書をもって確定します。
- (3) ガス払出量の単位は、メトリック・トン (MT) とし、当基地に導管を接続している事業者との間の託送供給契約により別途定めた計量方法に基づく送出容量 (m<sup>3</sup>N) により算定します。
- (4) 基地利用希望者自らまたは他の者が当基地まで導管を敷設し、当基地設備と直接接続する場合は、当基地に設置する計量器の送出容量 (m<sup>3</sup>N) により算定します。

## 1 2. 基地利用料、補償料

- (1) 基地利用料金は機能別に固定料金と従量料金に区分し、それぞれ以下の指標に基づき算定します。

なお、固定料金は月額として、日割精算は行いません。

機能	内訳	指標	算定基礎等
受入関連	固定料金	LNG受入量比率	年間受払計画等に基づき算定した比率
	従量料金		
貯蔵関連	固定料金	LNGタンク占有率 (平均在庫量)	過去実績値に基づき算定した比率 基地利用希望者で実績値がない場合は 年間受払計画等当社等が合理的と考える 他の値に基づき算定した比率
気化関連	固定料金	払出能力に対する占有率	年間受払計画等に基づき算定した比率
	従量料金	ガス払出量比率	

- (2) (1)に加え、基地運営に係る費用（事務経費、初入港船の船陸整合確認・入港に関する会議費用、工事費用、外注追加費用 他）および基地利用希望者が費用発生起因者である費用を負担していただきます。

- (3) (1)および(2)に定める料金（以下「基地利用料」といいます。）は、利用実績に基づき、原則として、基地を利用した月の末日締切にて算定します。

- (4) 基地利用希望者は、LNG船の入出港に必要な手続、官庁申請等の手配、LNGの通関、LNGの輸入に関して発生する納税等について、自らの費用負担にて自ら行うものとします。

なお、基地利用希望者は、各手続き等について、当社等の意見を踏まえ行うものとします。

- (5) 基地利用契約が途中で解約された場合、次の算式によって算定する合計金額を、基地利用契約の当該年度の中途解約補償料として契約終了月の翌月に申し受けます。

$$\text{固定料金分} = \text{固定料金} \times \text{解約日の翌月から当該年度末までの残存月数}$$

- (6) 基地利用契約が途中で解約された翌年度以降の契約残存期間に対する補償料については、基地利用希望者が発生起因者である費用等が残存している場合に、別途協議するものとします。

## 1 3. 基地利用料等の支払

- (1) 基地利用料の支払義務は、基地を利用した月の末日の翌日に発生します。



- (2) 12(5)に定める中途解約補償料の支払義務は、該当する事由の発生した月の末日の翌日に発生します。
- (3) 12(6)に定める基地利用期間の残存期間に対する補償料の支払義務は別途協議するものとします。
- (4) 基地利用料および12(5)、(6)に定める補償料に消費税等相当額を加算した金額(以下「基地利用料等」といいます。)を、支払義務発生の日の属する月の末日(以下「支払期限日」といいます。ただし、当日が金融機関の休業日にあたる場合は前営業日を支払期限日とします。)までにお支払いいただきます。
- (5) 基地利用料等は、当社が指定した金融機関預金口座に振り込んでいただきます。
- (6) 基地利用料等の支払は、基地利用料等が金融機関に振り込まれた日になされたものとします。
- (7) 振込手数料は、基地利用希望者の負担とします。
- (8) 基地利用料等が支払期限日までに支払われない場合は、支払期限日の翌日から支払の日まで、基地利用料等から消費税等相当額を差し引いた金額に対して年10パーセントの延滞利息を基地利用希望者から申し受けます。
- (9) 延滞利息は、原則として、延滞利息の算定の対象となる基地利用料等を支払われた直後に支払義務が発生する基地利用料等とあわせてお支払いいただきます。
- (10) 延滞利息の支払義務は、原則として(9)の規定に基づきあわせてお支払いいただく基地利用料等の支払義務発生日に発生したものとみなします。
- (11) 延滞利息の支払期限日は、原則として、(9)の規定に基づきあわせてお支払いいただく基地利用料等の支払期限日と同じとします。
- (12) 基地利用料等および延滞利息は、支払義務の発生した順序でお支払いいただきます。

#### **14. 基地を利用するための設備工事に伴う費用の負担**

- (1) 基地利用希望者が当基地を利用することにより、当基地に設備の新設や変更、撤去等が発生した場合、当社は、その工事費に消費税等相当額を加算した金額を基地利用希望者に負担していただきます。
- (2) 当社は、(1)の規定により、基地利用希望者に負担していただくものとして算定した工事費を、原則として、その工事完成日の前日までに全額申し受けます。
- (3) 当社は、債権保全上必要と認める場合には、工事着手前に工事費を全額申し受けます。
- (4) 当社は、次の事情によって工事費に著しい差異が生じたときは、工事完成後、遅滞なく精算することといたします。
  - ①工事の設計時に予知することができない地下埋設物・掘削規制等に伴う工事の実施条件に変更があったとき

- ②工事に要する材料の価額又は労務費に著しい変動のあったとき
- ③その他工事費に著しい差異が生じたとき
- (5) 工事費の支払いは、当社が指定した金融機関預金口座に振り込んでいただきます。なお、振込手数料は、基地利用希望者の負担とします。
- (6) (1)により新たに設置または廃止する設備等については当社が施工・管理します。新たに設置した設備等に関する所有権は、当社に帰属するものとします。

## IV. 基地利用

### 1 5. 受入・貯蔵・気化・払出

- (1) 基地利用希望者は、基地利用開始前までに、双方誠実に協議の上、当社等と年間受払計画に合意することとします。年間受払計画の見直しが必要な場合は、双方誠実に協議の上、修正計画に合意するものとします。
- (2) 基地利用希望者は、当社等と協議のうえ利用する LNG 船の着棧、受入に関する荷役諸規定を定め、安全かつ円滑な荷役に向けて、当社と入港前ミーティング、荷役前会議等を含めた緊密な連絡を行うものとします。
- (3) LNG の受払・貯蔵管理および保安管理等を的確に行うため、基地利用希望者は連絡体制を整備し、基地利用開始前までに、当社等に書面により提出するものとします。

### 1 6. 基地利用等の制限（LNG 受入やガス払出の制限、停止等）

- (1) 当社等は、次に該当すると判断する場合、基地利用希望者の LNG 船の配船、着棧、LNG の受入、貯蔵、気化および払出を制限または中止する場合があります。その際は、予めその旨を基地利用希望者に通知します。  
ただし、緊急の場合はこの限りではありません。
  - ①保安を確保するために必要がある場合
  - ②災害その他の不可抗力による場合
  - ③当社等の設備（当社等が所有する発電設備等やお客さま設備を含む）に支障が生じた場合または生じる恐れがある場合
  - ④当社等、または、当社等のお客さまへの供給上必要がある場合
  - ⑤基地利用希望者が債務不履行または基地利用契約の条件（別に公表する「液化ガス貯蔵設備の容量等」に記載するプラント設計上受入可能と見込まれる LNG の品質を含む

む)を逸脱した場合

⑥法令や監督官庁の要請(行政指導を含む)による場合

⑦その他、安定供給上必要がある場合など当社等が必要であると判断した場合

- (2) 当社等は、(1)により基地利用等の制限(LNG受入やガス払出の制限、停止等)をした場合において、その理由となった事実が解消された場合はすみやかにこれを解除します。

## 17. 損害の賠償

- (1) 基地利用希望者による基地利用(基地利用等の制限に該当する場合も含まれます。)等に伴い、当社等が損害を受けた場合、基地利用希望者はその損害を賠償するものとします(機会損失費用を含みます。)
- (2) 基地利用希望者による基地利用等に伴い、基地利用希望者が損害を受けた場合、その損害が当社等の故意または過失による場合を除き、当社等は賠償の責任を負いません。

## V. 契約の期間満了、更新、変更および解除

### 18. 契約の期間満了、更新、変更および解除

- (1) 基地利用希望者は、基本契約期間満了後も継続して基地利用を希望する場合、契約で定める日までに、当社等に対して再度基地利用検討の申込みを行っていただきます。
- (2) 基地利用希望者は、契約期間中に基地利用契約の変更を希望する場合、契約で定める日までに、当社等に対して再度基地利用検討の申込みを行っていただきます。
- (3) 基地利用希望者は、契約期間満了前に基地利用の終了を希望する場合、契約で定める日までに、当社等に対して書面により契約終了の申込みを行っていただきます。
- (4) 当社等は、基地利用希望者の基地利用が引受条件に適合しなくなった場合や、関係法令の改正または著しい社会的・経済的変動等、基地利用契約の存続が困難または不相当と認められる場合には、契約期間中であっても当社等は基地利用契約を解約または変更することができるものとします。

また、基地利用希望者が次のいずれかに該当する場合、契約期間中であっても当社等は基地利用契約を解約できるものとします。

- ① 16 (1) ⑤の規定による基地利用等の制限（LNG 受入やガス払出の制限、停止等）において、基地利用希望者がその理由となった事実を解消しない場合
  - ②破産、会社更生、民事再生、会社整理、特別清算または特別調停等の申立てを受けあるいは自ら申し立てたとき
  - ③滞納処分による差押えもしくは保全差押えがなされ、または保全処分の申立てがなされたとき
  - ④強制執行の申立てがなされたとき
  - ⑤解散の決議がなされたとき
  - ⑥その他基地利用希望者の業務の継続に重大な支障を及ぼすと認められる状態が発生したとき
- (5) 契約終了または契約解除の場合、基地利用希望者は、契約終了または契約解除時に当社等に対して負担すべき債務がある場合は、ただちに債務を弁済していただきます。
- (6) 契約終了または契約解除の場合、当社等が引き続き使用する旨を通知した場合を除き、基地利用希望者に、原則として当基地の設備の原状回復のための費用全額を負担していただきます。
- (7) 契約終了または契約解除時において、基地利用希望者のLNG在庫が残っている場合、この処理に係る事項を双方誠実に協議の上、決定します。

## VI. 保安等

### 19. 保安

別に合意する場合を除き、保安責任の分界点は受入地点および払出地点とします。

### 20. 危険負担

- (1) 受入地点以前のLNGおよび払出地点以降のガスについては、基地利用希望者が危険負担を負います。
- (2) 受入地点から払出地点までのLNGまたはガスについては、当社が危険負担を負います。

## Ⅶ. その他

### 2 1. 名義の変更

基地利用希望者が、基地利用契約期間中に、合併その他の原因によって、基地利用契約上の地位および基地利用契約上の権利および義務のすべてを第三者に継承し、当該第三者が引き続き基地利用を希望する場合には、名義変更の手続きによることができます。この場合、基地利用希望者および第三者から、書面により、名義変更の手続きを希望する旨を申し出ていただきます。

### 2 2. 権利譲渡等の禁止

当社等および基地利用希望者は、基地利用契約に基づき発生する権利および義務について、相手の承諾無しで第三者に譲渡、移転または担保の用に供してはならないものとします。

### 2 3. 情報の取り扱い

- (1) 当社等は、基地利用希望者から提供を受けた情報について、事前の承諾無く第三者に開示いたしません。既存基地利用者が存在する場合には、守秘義務契約（情報の目的外利用の禁止を含みます。）を締結した上で、基地利用検討に必要な範囲で既存基地利用者に情報を開示する場合があります。  
また、当社等は、基地利用希望者から提供を受けた情報について、当該基地利用検討の目的以外には使用しません。
- (2) 基地利用契約の締結に至った場合、当社等は、契約締結後、主な契約条件（取引数量、利用期間等）を基地利用希望者の承諾を得たうえで公表することができるものとします。
- (3) 基地利用希望者は、当社等から提供を受けた情報について、事前の承諾無く第三者に開示することはできません。また、当該基地利用の準備目的以外には使用することはできません。
- (4) 本規定にかかわらず、当社等は公的機関から法令等に基づいて要請があった場合、情報を開示する場合があります。

## 2 4. 基地利用の申込み・問い合わせ窓口

L N G基地利用検討に関するお申込み・お問い合わせは下記窓口にて承ります。

日本海エル・エヌ・ジー株式会社 企画業務部 企画業務課

所在地：〒957-0195 新潟県北蒲原郡聖籠町東港 1 丁目 1612 番地 32

電 話：025-256-2135 (ダイヤルイン)

メール：[k-gyoumu@nihonkai-lng.co.jp](mailto:k-gyoumu@nihonkai-lng.co.jp)

## 液化ガス貯蔵設備の容量等

### (1) 現行設備

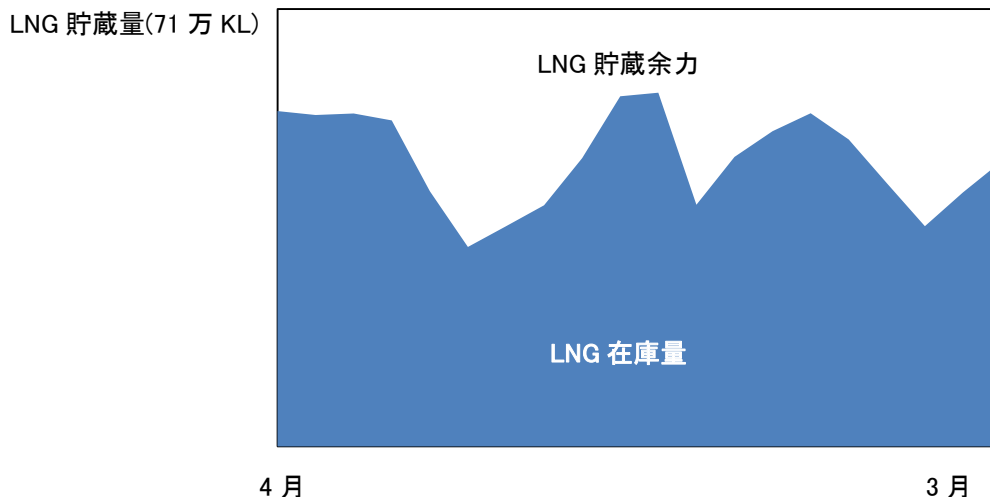
LNG 船バース	貯蔵設備	気化設備
最大船型： モス型 147,000 m <sup>3</sup> 80,229DWT メンブレン型 217,000 m <sup>3</sup> 109,351DWT 水深：14m	80 千 kl×4 基 100 千 kl×4 基 合計 720 千 kl	オープンラック式 <sup>注1</sup> 125t/h×4 基（高圧用） (参考) 175t/h×3 基（低圧用） 180t/h×3 基（中圧用） 90t/h×2 基（中圧用） サブマージド式 120t/h×1 基（中圧用）

注 1. オープンラック式の能力は海水温度 16℃以上の場合です。

注 2. 気化設備の低圧用および中圧用は、東北電力株式会社の東新潟火力発電所向け専用です。

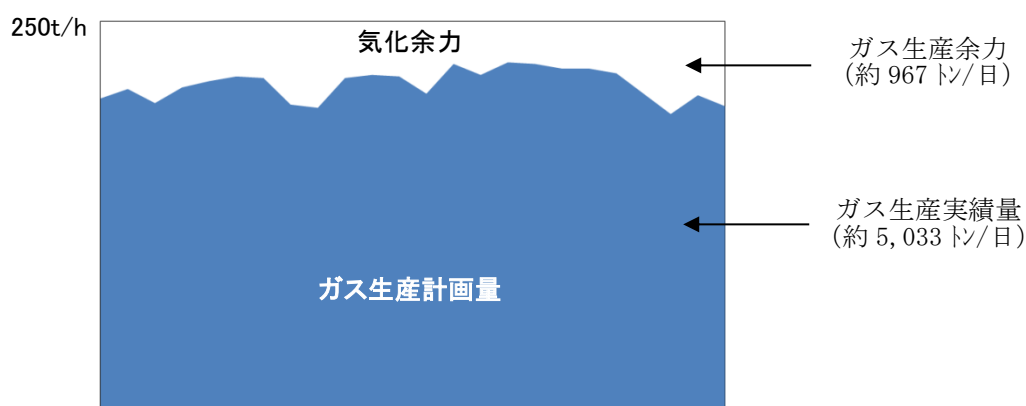
注 3. 気化設備の基数には、定期整備や修繕工事等の際に使用する予備基が含まれており、高圧用気化設備の最大送出ガス能力は 250t/h となります。送出ガス圧力は 6.57Mpa です。

### (2) 貯蔵余力のイメージ図



注. 上図は当基地の LNG 貯蔵のイメージを示すものです。当基地の傾向として、季節に関係なく、LNG の受入状況、電力（ガス）の需要動向、発電所等の設備工事等によってタンク内の在庫は大きく変動いたします。

### (3) 気化余力のイメージ図



- 注 1. 上図は当基地が最もガスを生産した日における LNG 気化余力（日量）をイメージで示したものです。実際の気化余力は、電力（ガス）の需要動向、発電所や気化設備等の定期点検工事・設備工事等によって大きく変動いたします。  
 なお、上図は高圧用気化設備の気化余力のイメージ図であり、東北電力株式会社の東新潟火力発電所向け専用である低圧用および中圧用の気化設備は含まれておりません。
- 注 2. ガスの送出においては、10,000kcal(41.860MJ/m<sup>3</sup>N)以上の発熱量を確保する必要があります。

### (4) プラント設計上受入可能と見込まれる LNG の品質

組成	メタン	85.12 体%以上	96.805 体%以下
発熱量	40.801 ~ 46.114 MJ/m <sup>3</sup> N		
液密度	432.5 ~ 474.6kg/m <sup>3</sup>		
その他	固形またはその他の不純物及び異物を含まないこと。		

- 注 1. 受け入れることができる LNG の品質は、個別の利用条件やタンク運用実態によって異なるため、上記の数値は目安とします。
- 注 2. 上記はプラント設計上の条件であり、ガスの送出に必要となる性状が確保されない品質の LNG を調達する場合には、既存基地利用者との協議等を行っていただく必要があります。

### (5) 配船計画のおおよその策定スケジュール

当年度の配船計画の策定スケジュールは概ね以下のとおりです。

- ・前年度 7 月頃                      ・ ・ ・ LNG 売主との間で配船協議を開始
- ・前年度 12 月～3 月頃          ・ ・ ・ LNG 売主との間で年間配船計画を策定

(注) 上記はおおよその策定スケジュールであり、具体的な配船計画策定スケジュールは様々な LNG プロジェクトによって異なります。